

平成29年度 学校評価のまとめ

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①文化祭, 体育祭, 生徒研修等の主たる学校行事に加え, 外国からの修学旅行受入や君津市との連携事業, 各種ボランティア等, 生徒主体で企画・運営・振り返りを行った。</p> <p>②第1・2学年で毎日, 1分間スピーチを実施した。</p> <p>③風紀委員, 保護者, 職員による登下校指導を年間6回実施した。</p> <p>④学校行事等を積極的に掲載してHPの充実を図った。また, HPを80回更新した。次年度設置の「教員基礎コース」, 「修学旅行」のページを開設した。</p> <p>⑤「開かれた学校づくり委員会」にPTA元役員・塾関係者, 進路先人事担当がおり, 様々な角度から意見をいただくことができた。</p> <p>⑥君津市市税1%支援事業, 君津特別支援学校とのコラボコンサート, 「お兄さんお姉さんと学ぼう」事業を含めて, 幼稚園・保育園・小学校・中学校, 特別支援学校, 計8校に延べ225名の生徒を派遣できた。また, 「山の上文化交流会」を坂田小・大和田小・周西中学校と本校の4校で実施した。</p> <p>⑦保護者面談を, 8月に5日間実施した。</p>	<p>①現在ある学校行事の改革を含め, 生徒の積極性や自主性を育むため, 生徒の企画・運営による学校行事を展開するとともに, 行事の見直しを積極的に行う。</p> <p>②1分間スピーチの内容充実に取り組む。</p> <p>③合同登校指導やあいさつ運動などを充実させ, 明るく活力のある学校づくりを目指す。</p> <p>④情報発信については次年度も積極的に行う。特に写真等の充実により, より見やすい親しみやすいホームページにする。</p> <p>⑤ミニ集会の運営方法, 広報の方法を組織的に行う。</p> <p>⑥今後も出前授業, 山の上文化交流会など山の上4校交流を中心に継続発展させていく。昨年度山の上4校連絡協議会が発足し, より一層の連携を深めていく。また, 君津市市税1%事業に継続申請を行い, 幼・保・小・中・特支との連携を深めていく。</p> <p>⑦設定した期間以外の面談を充実させる。</p>
学習指導	<p>①生徒による授業評価アンケートを5月と12月に実施した。授業に対する肯定的な意見が平均82.3%であった。授業中の発問が少ないという意見が50.2%あった。</p> <p>②英語拠点校の授業公開を2回, 授業練磨の公開日と合わせのべ5日間実施した。また, 同日に道徳の授業公開を行った。さらに, 相互授業参観を3週間実施し, 感想や意見を集約し, 共有した。</p> <p>③高大接続改革, 入試制度の変革に向けた動画教材の導入にむけて, 学力向上委員会を5回開催した。</p> <p>④平日ゼミ前期28講座286人参加, 後期30講座211人参加, 夏期ゼミ31講座578人参加, 入試直前ゼミ30講座176人参加で実施。</p> <p>⑤新入生対象の学習オリエンテーションを4月に実施。</p>	<p>①生徒の授業評価アンケートの結果を分析し, 教員が自分自身の授業について改善を図る。</p> <p>②他の高校の公開授業にも積極的に参加する。小・中学校も招き, 授業実践研究協議会を開催する。</p> <p>③次年度1・2年生に動画教材を導入する。また, ポートフォリオ対策として, 1年生はNOLTYスコラベシックを導入する。</p> <p>④平日ゼミの参加生徒が少ないので, 参加しやすい工夫を検討する。</p> <p>⑤次年度も継続し, 実効性のあるオリエンテーションの実施に向けて工夫・改善を図る。</p>
生徒指導	<p>①登下校指導6回, 昇降口での挨拶・身だしなみ指導を3回実施。</p> <p>②部活動加入率は, 84.5%。ボランティア参加者は88名であった。生徒会が, 台湾・マレーシアの高校生との交流会を2回実施した。また, 夏季休業中に君津市で合宿を行ったソフトボールニュージーランド選抜と交流した。</p> <p>③生徒面談を6月に1週間実施し, 学校生活アンケートを2回実施した。</p> <p>④いじめ調査を2回実施し, 記入のあった生徒全員から聞き取りを行い, いじめ対策委員会を開催した。</p>	<p>①登下校マナー, 自転車走行に関する指導を充実させる必要がある。</p> <p>②部活動加入率, 生徒会の活動状況は素晴らしい。今後さらに活動内容の充実を推進する。</p> <p>③スクールカウンセラーが配置されておらず, 教員の教育相談に関する実務の習得が急務である。</p> <p>④いじめに対する危機意識の低い職員が若干名いる。いじめに関する生徒指導体制の研修等を実施していく。</p>
キャリア教育	<p>①学年別進路講演会, 進路ガイダンス(3学年1回, 1・2学年の2回), 国公立大説明会センター試験説明会2回, 就職説明会10回, 卒業生による進路講話, 進路体験講話, 大学による模擬授業をそれぞれ実施した。</p> <p>②ベネッセ社員を講師としたスタディーサポート研修会を実施した。職員研修に対する肯定的な意見は84.2%であった。</p> <p>③生徒面談週間は計画通り実施できた。また, 進路に関する個別相談は年間を通して対応できた。</p> <p>④学力向上委員会が主体となって平日及び夏季休業中のゼミの実施と, 大学受験直前ゼミの実施ができた。</p>	<p>①様々な取組みについては, 時期や内容等を見直し, 次年度も継続実施していく。</p> <p>②多様な職員研修の充実を更に図る。</p> <p>③継続実施する。</p> <p>④課外授業の効果的な運用を学力向上委員会で検討する。苦手科目の克服を助ける課外授業も必要である。</p>
特色ある教育活動	<p>①2学年英語コースの35名が, 英国擬似体験プログラムに参加した。</p> <p>②全校生徒を対象, 7月に海外理解促進のための講演会を, 1月には2年英語コースと次年度英語コース希望の1年生及び希望者に対して, 敬愛大学の留学生との交流会を実施した。生徒のアンケートから有意義な内容であったことがうかがえた。</p> <p>③5月に台湾・大同高級中学, 12月にマレーシア・MSK校との生徒交流を行い, 交流をとおして国際理解が深まった。</p> <p>④平成30年度に設置される「教員基礎コース」の展開のため, 大学教授の講義1回, 学習支援ボランティア(小学校, 特別支援学校, 公民館)を延べ13回実施した。</p>	<p>①英国擬似体験プログラムは, 高校生には大変貴重な体験である。今後も内容を充実させ, 継続して実施していく。</p> <p>②地域に開いた形で事業を継続していく。</p> <p>③更に内容を工夫し, 多くの生徒が交流できるようにする。</p> <p>④「教員基礎コース」の充実した展開に向けて, 常に検討を重ねていく。</p>

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善方策)
学校経営	<p>①76%の保護者が、学校行事が活発だと感じている。学校に対しては協力的である。</p> <p>②生徒の積極性や自主性を育むこと大切である。</p> <p>③学校付近の登下校マナー指導を充実させる。</p> <p>④学校からの情報発信に対する満足度が、54.7%と－6.2ポイント下降した。ホームページ更新回数、文書等発出回数、学年通信発行回数ともに昨年度と同様であり、かつ一昨年度の倍以上である。</p> <p>⑤様々な角度から率直な意見を頂けることは学校にとっても有益である。日頃、生徒が利用するコンビニや君津駅関係者を委員に加えてはどうか。</p> <p>⑥良い取組である。今後も継続してほしい。</p> <p>⑦面談時間を柔軟に設定してほしい。</p>	<p>①保護者の参観環境を整える。</p> <p>②生徒が主体的に活躍できる場を多く設定する。</p> <p>③地域や保護者と連携を図っていく。</p> <p>④保護者向けメール配信の方法について関係部署で検討する。</p> <p>⑤委員の増員は現状難しいが、様々な角度からご意見がいただける委員の選考は検討すべきである。</p> <p>⑥継続実施し、地域住民の参観を促す。</p> <p>⑦勤務体制も含め、柔軟に対応する。</p>
学習指導	<p>①生徒の授業に対する満足度は大変高い。しかし、昨年度から改善の必要があった「発問の少なさ」の改善が進んでいない。授業改善が必要だ。</p> <p>②授業公開等をとおして授業改善に取り組むことは大変重要なことであり、今後も続けていく。</p> <p>③入試制度改革に向けた取り組みは評価できる。今後、生徒が志を高く持ち進路実現を図ることができるよう取り組んでほしい。</p> <p>④十分な取組だが、保護者の学校評価に反映されていないことが残念である。</p> <p>⑤効果について検証した方が良い。</p>	<p>①アクティブラーニングの手法を活用した研修の充実を図る。</p> <p>②山の上4校連絡協議会を活用し、若手教員の他校や異校種の授業参観を推進する。</p> <p>③入試制度改革に向けた職員研修を実施し、職員のスキルアップを図る。</p> <p>④今後も継続するとともに、しっかりと広報していくことを検討する。</p> <p>⑤効果について検証を進める。</p>
生徒指導	<p>①生徒の規範意識醸成や心の育成に関する保護者の学校評価では、65.5%であるが、登下校の態度等、地域からは良好な意見が多い。</p> <p>②生徒会活動・部活動は活発で良い。しかし、保護者の自由記述からは勉強との両立に不安があるようである。ノー部活デーも徹底を図るべきだ。</p> <p>③保護者の学校評価で教育相談への満足度が50.4%であるのは残念だ。多様な悩みを抱える生徒がおり、ぜひスクールカウンセラーの配置をお願いしていく。</p> <p>④いじめ対策に積極的に取り組んでいるが、保護者の評価に反映されていない。</p>	<p>①引続き、今後も取組を徹底していく。</p> <p>②行事等は、生徒が運営できるよう推進する。部活動は、ノー部活デーの徹底を図りつつ、各部の核となる生徒を育てる。</p> <p>③今後とも教育相談体制の充実、保護者・関係機関・他校のスクールカウンセラーと連携に努める。</p> <p>④ホームページ上での調査結果の公表や実施についてメールで知らせる。</p>
キャリア教育	<p>①進路指導に関する保護者の肯定的な意見は、61.5%であった。</p> <p>②進学だけでなく、本年度は公務員合格者を20名以上出しており、多様な進路指導が実現できるよう研修に励んでもらいたい。</p> <p>③今後も継続してもらいたい。</p> <p>④課外授業への取組は評価できるものだ。</p>	<p>①様々な取組については、時期や内容等を見し、次年度も継続実施していく。</p> <p>②多様な職員研修の充実を図る。</p> <p>③継続実施する。</p> <p>④平日の課外授業の運用について学力向上委員会で検討する。</p>
特色ある教育活動	<p>①費用的な問題がなければ、英国擬似体験は続けて欲しい。</p> <p>②グローバル人材を育成するうえで、このような事業を行うのは素晴らしいことだ。</p> <p>③生徒も良い経験になる。ぜひ継続させて欲しい。</p> <p>④「教員基礎コース」の展開は期待している。</p>	<p>①今後も継続して実施していく。</p> <p>②地域に開いた形で、事業を継続していく。</p> <p>③多くの生徒が体験できるよう、内容を工夫する。</p> <p>④実施状況を広報していく。</p>